



第5分野 産業

活力とにぎわいを生み出すまちづくり



農林業の振興

第2期基本計画までの成果と課題

本市の農業は、都市近郊という立地条件を生かしながら、水稻を中心にタケノコ、ナス、花菜などの特産物の生産振興に努め、農業生産所得の増大と農業経営の安定を図ってきました。その一方で、農業従事者の高齢化や後継者・担い手不足、農業所得の減少、鳥獣被害などの課題にも直面しています。

本市では、農業の中核的な担い手となる認定農業者^{※1}を増やすことにより、担い手不足解消に努めてきました。また、学校給食や企業に地元産農林産物を供給するなど、地産地消の取り組みも進めています。

今後は市内での農業生産をさらに活発にし、タケノコ、ナス、花菜など市の特産物のブランド化や農業経営の安定化につながる契約栽培先の開拓、農業者が農林産物を共同で販売する仕組みの構築を目指します。また、農業経営の安定化を図るため、農業生産基盤の整備や農地利用の集積を進めるとともに有害鳥獣の被害額や被害面積を減少させるための対策に努めていきます。

環境への意識が高まる中、森林保全に対する市民ニーズも高まってきています。平成16年度に25haであった森林整備面積は、平成21年度には133haに達しています。平成18年度からは除間伐^{※2}や利用木材の運搬に必要な作業道の開設や修繕を行い、森林整備のための基盤整備にも取り組んでいます。

農業者の高齢化などにより手の行き届かない放置竹林や森林に侵入し、森林の健全性を損なう恐れのある竹林については、緊急に整備を行うとともに、竹チップや竹炭など伐採した竹の利活用の方策を検討していきます。

今後も「西山森林整備推進協議会」と連携して、森林整備を進めるとともに、森林所有者の合意を得るためのデータの蓄積や情報提供が求められます。



ふれあい朝市(勝竜寺城公園駐車場)

基本的な方向

本市の特性を生かした都市近郊農業の維持発展を目指し、農業生産力の向上による農業経営の安定化と、農林産物を通じた農業者と市民の交流を促進します。また、市民の貴重な財産である西山の緑を守るため、森林(里山)の保全を進めます。

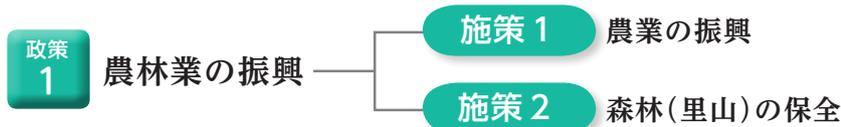
※1 認定農業者 … 田畑の拡大や機械化など農業に関する経営改善計画を市町村に提出して認定された個人や法人。

※2 除間伐 … 木を大きく育てるために、森林内の本数を減らし、十分な光を浴びせて幹が成長できるよう空間を作ること。

政策に関連する計画

農業新経営基盤強化促進基本構想《平成18年度～27年度、平成22年度改訂》
農業経営基盤の強化を図り、地域農政を総合的に推進することを目的に策定。

施策体系



施策と主要な事業

施策1 農業の振興

■目的

- ・農地の改良及び集約化と担い手の育成などによる農業生産力の向上や、特産物の生産振興を通じて、農業経営の安定を図るとともに、地域農林産物の地産地消を推進します。
- ・有害鳥獣による農林産物被害の軽減に努めます。

■主要な事業

●農業団体支援事業

事業の概要	目標指標
市内の農業者で組織されている都市農業振興クラブやふれあい朝市実行委員会 ^{※3} など、農業団体の組織運営や研修、地元産農林産物のPRイベントの企画運営などの活動を支援します。	農業団体の中でも特に農業の中核的な担い手で構成される都市農業振興クラブ員数を維持します。 【目標】38人以上を維持(平成23～27年度) 【現状】36人(平成21年度)

●特産物育成事業

事業の概要	目標指標
水稻の転作による特産野菜の産地育成など地元消費者の信頼確保による地産地消を推進します。	主要作物(花菜、ナス及びタケノコ)の生産量を維持します。 【目標】花菜62t ナス200t タケノコ600t以上を維持(平成23～27年度) 【現状】花菜62t ナス223t タケノコ650t(平成21年度)

※3 ふれあい朝市実行委員会 … 本市内で、定期的に野菜などの農林産物を直売する地元農家団体。

●有害鳥獣対策事業

事業の概要	目標指標
捕獲計画に基づいて有害鳥獣の捕獲を進めます。	有害鳥獣による被害面積を減らします。(平成21年度比) 【目標】 135a (平成 27 年度) 【現状】 179a (平成 21 年度)

●地産地消推進事業

事業の概要	目標指標
販路拡大(企業などへの地元産農林産物のPR)、学校給食などへの地元産農林産物の供給(食育への地元農家の貢献)、販売拠点の確保に取り組みます。	地元納入先(学校給食を含む)への地元産農林産物の納品実績金額を増やします。 【目標】 365万円(平成27年度) 【現状】 323万円(平成21年度)

●農業委員会運営事業

事業の概要	目標指標
農家台帳システム ^{※1} などを活用した農地の利用形態の分析や、各集落の農業委員会活動による担い手農家の掘り起こしを行い、農地の利用集積を進めます。	優良農地の保全と担い手農家などの効率的な農業経営を推進するため、農地の利用権設定(貸借)の面積を拡大します。 【目標】 300a(平成27年度) 【現状】 240a(平成21年度)

施策に関するトピックス

学校給食や市内企業への地元農林産物供給

地産地消を推進するため、地元農家の協力を得て、市内全ての小学校の学校給食に、本市の特産物であるタケノコや花菜、ナスなどの地元産農林産物を供給しています。時には、生産者が農業についての話を児童に聞かせたり、一緒に食べたりすることもあり、食文化の継承などにも役立っています。

また、平成20年に発足した本市の地産地消推進協議会では市内企業の社員食堂にも働きかけ、新鮮な地元産農林産物を供給しています。



タケノコご飯などを食べる児童
(長岡第五小学校)

※1 農家台帳システム…農家世帯の営農状況や農地の状況などを記録した公簿。農地法などの法令業務や各種証明書の発行、農業委員会活動の基礎資料として、農家基本台帳及び農地地図情報を電算で整備したもの。

施策2 森林(里山)の保全

■目的

- ・市内に残る森林(里山)の適正な管理を支援し、多面的機能を有する里山の保全を図ります。
- ・森林所有者や西山森林整備推進協議会への参画者など、様々な主体と連携して、森林環境の保全や育成を推進します。

■主要な事業

●造林・除間伐推進事業

事業の概要	目標指標
西山の森林機能を維持するとともに、望ましい里山林を保全するために必要な森林施業の推進と作業道 ^{※2} などの整備を図ります。	植樹や下刈り、除伐、間伐、改良、竹林整備、整理伐などが行われる里山林の施業面積を拡大します。 【目標】190ha(平成27年度) 【現状】133ha(平成21年度)

施策に関するトピックス 里山保全の取り組み

西山が本来持つ水源かん養機能や防災機能などを維持するため、長岡京市森林組合や西山森林整備推進協議会との連携のもと、西山の森林整備を推進しています。

森林整備により伐採された木材や竹の一部は、薪や竹炭、獣害防護柵などとして利活用を進めています。

西山の森林整備は、地球温暖化の要因のひとつと言われている二酸化炭素の吸収源対策としても注目されています。



森林ボランティア行事の森林整備(西山)

※2 作業道 … 森林整備で伐採した木材を搬出するために活用する、森林の中で軽自動車が行き交える道。

第2期基本計画までの成果と課題

近年の経済状況の激しい変化は、本市の商工業活性化の担い手となる大企業や中小企業、商工業団体、商店街団体に大きな影響を与え、活力の低下を招いています。

また、商店街団体においては、経営者の高齢化、事業力の不足、後継者不足、空き店舗などが課題となっており、操業環境が年ごとに厳しくなっています。

本市では、商工業の活性化に向け、中小企業の経営基盤安定につながる制度融資^{*1}に対して、利子や保証料を補助し、また、各商店街の活性化に向け、にぎわい創出事業や生き生き商店街づくり支援事業などへの補助、経営相談や中小企業対策に取り組む商工会への支援、企業立地促進などの施策に取り組んできました。

今後は、課題解決に向けた取り組みとして、経済情勢に即応できる融資制度への大幅な見直しや商工業活性化団体への適切な支援と連携、企業流出防止と新規立地企業誘致に向けての施策展開などが求められています。



商店街環境整備事業としてのLED商店街灯
(長岡中央商店街)

基本的な方向

豊かな市民生活を支える地域商工業の活性化を図るとともに、企業が事業活動を継続できる条件整備を進めます。

施策体系

※1 制度融資…本市が行っている事業資金の融資あつせんのこと。

施策と主要な事業

施策1 商工業の活性化

■目的

- ・経済情勢の変化に対応できるよう、中小企業者の事業資金の確保を支援し、経営基盤の安定を図ります。
- ・商工業団体などの自主活動に対する適切な支援を通じて、市内商工業の振興を図るとともに、まちのにぎわいを創出します。
- ・市内に立地する事業所の市外への流出を抑制するとともに、市内への新たな企業の立地を促進します。

■主要な事業

●融資関係補助事業

事業の概要	目標指標
中小企業者が経営基盤安定のために利用した制度融資に対し、利子や保証料を補助し負担軽減を図ります。	制度融資の利用による市の補償支援をより効果的に実施し、金融機関の市場金利を注視しながら、保証料補給率と利子補給率の維持に努めます。また、中小企業者の経営基盤安定のために制度展開を経済情勢に即応性のある形に変更していきます。 【目標】 上記内容を目標とします 【現状】 融資件数 572 件 (平成 21 年度)

●商店街等活性化支援事業

事業の概要	目標指標
各商店街団体が実施する商店街の活性化につながるイベント事業や販売促進事業などの各種事業活動に対し、補助金を交付します。	商店街活動のより一層の活性化のため、顧客の消費拡大につながるイベント事業や販売促進事業などへの取り組みを働きかけ、支援します。 【目標】 上記内容を目標とします 【現状】 支援事業件数 9 件 (平成 21 年度)

●商工会支援事業

事業の概要	目標指標
地区内商工業の総合的な改善を図るための経営指導や地域ブランドの創出、まちおこし基点事業、中心市街地エリア活性化事業など、中小企業の支援と社会貢献に取り組む商工会に対して補助金を交付します。	魅力ある商工会事業活動の充実により、商工会会員数の増強を図れる事業支援を行います。 【目標】 上記内容を目標とします 【現状】 商工会会員数 1,125 店 (平成 21 年度)

●企業立地促進助成事業

事業の概要	目標指標
事業所設置に関する助成や創業支援、地元雇用促進助成などを行います。	<p>本市への企業進出状況をつぶさに把握するため、京都府企業立地推進課と連携して企業進出情報を入手し、条例に基づく円滑な立地支援策を行うことにより、雇用創出と、企業流出の防止を図ります。</p> <p>【目標】申請に対応(平成23～25年度) 【現状】助成件数なし(平成21年度)</p>

施策に関するトピックス 商店街等活性化支援事業

長岡中央商店街では、夜間に84基の街灯をともし、地域の安心・安全を支えてきましたが、商店街会員数の減少などにより、維持管理費が財政を圧迫していました。

省エネで寿命の長いLED街灯に変更しようとしたが、市販のLEDランプでは明るさが足りず、改良を重ね、たくさん子どもたちや住民の協力の結果、自作のランプが完成しました。

この取り組みは、全国の地球温暖化防止活動の中から優れた取り組みを選ぶ「ストップ温暖化『一村一品』大作戦全国大会2010」で全国第3位の「銀賞」を受賞しました。

市内4つの商店会の店舗数は減少傾向にありますが、上記のような取り組みなど、各商店街の創意工夫による様々な事業展開を支援することにより、まちのにぎわいを創出します。



「ストップ温暖化『一村一品』大作戦全国大会2010」での受賞
(東京の会場)

政策
3

観光の振興

第2期基本計画までの成果と課題

本市における観光施策は、平成17年度に策定した「長岡京市観光戦略プラン」を基軸として、「長岡京市観光戦略プラン推進本部会議」などをはじめとする「産・学・民・行」の連携による検討を行いながら、「住んでよい 訪れてよいまち 長岡京」の実現を目指し、「観光」によるまちづくりの視点で進めています。

毎年、乙訓・八幡歴史ウォークを広域連携事業として実施し、観光客の誘致につなげています。また、長岡京市観光協会については、協会が実施する各種事業の支援や事務局の運営支援を行っています。会員数はほぼ横ばいではあるものの、平成21年度より組織強化事業を行い、会員店などの積極的なPRや会員拡大を進めています。

さらに、平成17年からはJR長岡京駅西口の総合交流センター内に「観光情報センター」を設置し、阪急長岡天神駅前の「観光案内所」と合わせて、市民及び観光客に対する観光案内やその他観光情報の提供、特産品や工芸品などの展示や販売を、指定管理者制度を活用して行っています。

今後は、本市の歴史や文化を観光資源としてより一層活用して観光振興につなげるとともに、観光振興に不可欠な観光協会をはじめとする市民団体との連携と協力のもと、市民との協働をさらに進めて、観光の担い手に必要な支援を行っていくことが求められます。



観光案内所(阪急長岡天神駅前)

基本的な方向

市民や来訪者が本市の自然や歴史、文化に触れ、その魅力を堪能できるように、観光の視点を取り入れたまちづくりを推進します。

政策に関連する計画

長岡京市観光戦略プラン《平成17年度～》

自立都市の要件であるまちの活性化とにぎわいの創出を図り、地域のアイデンティティ^{※1}の高揚に資するため、「住みよいまちは、訪れてよいまち」を基本理念に、市民と来訪者がともに満足できる持続可能な観光振興を進めることを目的として策定。

※1 アイデンティティ…時代に左右されない個性や特徴のこと。

施策体系

政策
3

観光の振興

施策 1

観光事業の活性化

施策と主要な事業

施策 1 観光事業の活性化

■目的

- ・各種団体が行う観光イベントなどの実施に対する支援とともに、市民や観光客を対象とした本市の自然や歴史、文化についての情報提供を行い、観光地としての魅力を高めます。
- ・観光地周辺環境を整備し、清潔で美しく安心して楽しめる観光地づくりを進めます。

■主要な事業

●観光イベント充実事業

事業の概要	目標指標
乙訓2市1町と八幡市の広域連携により、「歴史ウォーク」を行います。また、市内外の観光客をいざなう、食をテーマにした活動の推進を支援します。	乙訓・八幡歴史ウォークや食をテーマにした観光イベントの充実を図ります。 【目標】 各種イベント年3回（平成27年度） 【現状】 歴史ウォーク1回（平成21年度）

●観光協会支援事業

事業の概要	目標指標
本市における持続可能な観光振興につながる具体的事業として、市民や観光客への憩いの場の提供や特産品などの宣伝啓発など、観光協会が実施する各種事業を支援します。	観光協会の会員数を増やします。 【目標】 210人（平成27年度） 【現状】 170人（平成21年度）

●観光案内所管理運営事業

事業の概要	目標指標
阪急長岡天神駅前の観光案内所及びJR長岡京駅西口のバンビオ1番館の観光情報センターにおいて、市民及び観光客に観光案内やその他観光情報の提供を行うとともに、特産品や工芸品などの展示や販売などを行います。	観光案内所と観光情報センターにおける案内件数（電話案内を含む）を増やします。 【目標】 96千人（平成27年度） 【現状】 90千人（平成21年度）

●八条ヶ池周辺維持管理事業

事業の概要	目標指標
八条ヶ池中堤のキリシマツツジ、水上橋周辺及びアヤメ・カキツバタ・ショウブ園などの観光地環境の景観を守ります。	八条ヶ池周辺の入り込み客数を増やします。 【目標】70万人(平成27年度) 【現状】67万5千人(平成21年度)

施策に関するトピックス 季節の観光まつり

本市では、観光地としての魅力を高めるため、観光団体などとの連携を図り、魅力ある新しい観光名所づくり、観光地開発事業に取り組んでいます。市内では以下のような観光まつりが開催されます。

◇春の観光まつり(4月下旬)

長岡天満宮では樹齢約150年のキリシマツツジが満開になり、乙訓寺では約2,000本のボタンが大輪の花を咲かせます。

◇あじさいまつり(6月下旬)

楊谷寺では梅雨の中で潤いを増して、色とりどりのアジサイが咲き誇ります。

◇秋のもみじまつり(11月下旬)

光明寺、楊谷寺、長岡天満宮の木々が色鮮やかに紅葉します。

今後も「住んでよい 訪れてよいまち 長岡京」の実現を目指し、観光地環境の整備をはじめ、市民と来訪者がともに満足できる観光振興を進め、地域の活性化につなげます。



秋のもみじまつり
(柳谷観音 楊谷寺)